

Japan Agricultural Cooperatives

2025

GOTO ISLANDS

ごとう

11

November

No.237

五島牛 新ロゴ・デザイン発表
五島地区代表牛が決定

五島和牛振興会
長崎和牛共進会

本格シーズンに向けて
見学で学ぶお米の仕組み
優勝を狙い白熱した大会

各都道府県出荷会議
岐阜ライスセンター
JAことう 年金友の会



さつま芋掘り体験会

本山にある圃場でさつま芋掘り体験を実施しました。様々な形、大きさの芋に大人から子どもまで笑顔の絶えない時間となりました。

「五島牛」新ロゴデザイン発表会



畜産事業 **五島和牛振興会**

新たな登録制度とロゴで五島牛ブランドを強化

●五島市が誇るブランド牛「五島牛」のさらなる飛躍を目指し、JAごとうや五島市などで構成する五島和牛振興会は、地域団体商標「五島牛」のブランド力強化に向けた新たな取り組みをスタートしました。



肉用牛

「五島牛」の全国発信に向けて

10月1日、JAごとう本店にて「五島牛新ロゴ・デザイン発表会」が開催されました。主催は五島和牛振興会。会場では、新たなブランド展開のスタートを飾るべく関係者が多数参加し、五島牛の今後への期待が寄せられました。

「取扱店登録制度」を開始

五島和牛振興会は、2025年10月より新たに肥育農家や取扱店の「登録制度」を導入しました。この制度は、肥育農家、精肉店、飲食店を対象に、登録を通じて五島牛に関わる事業者の連携を強化し、生産や流通の安定化を図るものです。

出口会長からは「この登録制度により、消費者のみならず安全で高品質な五島牛を提供するための基盤をさらに強化するとともに、今後も五島牛を通じて地域経済の活性化や食文化の発展に寄与できるよう会員のみならずと協力しながら尽力してまいります」と力強い挨拶がありました。



あいさつをする五島和牛振興会 会長
五島市長の 出口 太 氏

新ロゴで五島牛の魅力表現

制度開始と同時に、五島牛のブランドロゴも刷新され、新しいロゴを採用した販促資材の展開が始まりました。

出口会長はロゴについて、「『幻の牛』とも称される五島牛が、生産者の愛情によって大切に育てられ、五島の畜産文化の象徴として皆様の食卓に届く——そんな想いを込めたデザインです」と紹介。

また、JAごとうの家永組合長は、「このロゴを活用し、行政とも連携しながら品質の向上と販路拡大を目指してまいります」と、今後の取り組みに向けた意気込みを語りました。



五島牛の生産・販路拡大を目指したいと語る 家永組合長



様々な思いが込められた新ロゴ・デザイン



いよいよ本格化！いんげん出荷最盛期に向けて

いんげん

●徐々にいんげんの出荷が始まり、出荷のピークが近づく今、出荷会議を開催し、各地区での育成状況や市場情勢の報告、さらに役員改選が実施されました。



数量確保の重要性を説く
京都青果合同(株)清水課長

JAごとういんげん部会は10月21日、出荷会議を開催しました。

令和7年産の抑制いんげんは、栽培面積90・5a、生産者28戸での栽培となっており、出荷の最盛期は11月上旬から中旬と見込まれています。

農産園芸部からは、定植後の高温・干ばつの影響で発芽不良や一部圃場での播き直しが発生するほか、病害虫では菌核病などのカビ系病害が例年より多いとの報告がありました。

市場情勢については、東京青果(株)、京都青果合同(株)、大阪中央青果(株)、全農ながさきから説明がありました。特に京都青果からは、「数量の確保が最重要課題」との提言があり、「豆類は近年、価格の大きな下落が少ないため、単価に関わらず収量を確保することが安定経営につながる」と強調されました。あわせて「高値だから減らして稼ぐという考えでは、価格が下がった時に対応できない。品質が多少バラについても、収量を優先する姿勢が大切」との具体的な方針が示されました。



いんげん部会・新部会長の
神村 隼人さん(29)

その後、「いんげん出荷規格」の再確認と役員改選を実施。三井楽支部から、就農2年目の神村隼人さんが部会長に立候補し、就任しました。神村新部会長は「初めて部会に参加し、部会長となったが、生産者の少なさに驚いた。今後は部会を盛り上げていきたい。未熟者ですが『追いつけ追い越せ』の気持ちで頑張ります」と力強く抱負を語りました。

また、副部会長には福江支部の江頭和彦さんが就任。若手とベテランによる新体制がスタートしました。



スナップ部会が出荷会議「1ケースでも多く」

スナップ

●令和7年産スナップエンドウの出荷がスタート。高温や病害の影響を受けつつも、部会では事前防除と計画的出荷を呼びかけ、安定出荷と価格維持を目指します。

市場情勢については、東京青果(株)、京都青果合同(株)、大阪中央青果(株)、全農ながさきより報告がありました。このうち東京青果(株)からは、

令和7年10月21日、JAごとうスナップ部会の出荷会議をもって、令和7年産スナップエンドウの本格的なシーズンが幕を開けました。

今作の栽培面積は、露地栽培261a、ハウス栽培108a、合計369aで、前年比88・9%となっています。生産者数は、前年より5戸減の60戸です。

播種はお盆頃から始まり、8月下旬が中心でしたが、高温・干ばつの影響で生育にばらつきが見られ、一部では播き直しも行われました。さらに生育初期からの高温多湿により、こうがい毛かび病や灰色かび病などの病害が例年より多く発生しています。特に毛かび病は収量減の要因となるため、早期予防の徹底について注意喚起がなされました。

出荷は10月17日より始まっており、計画では、11月下旬から12月上旬、および年明け2月から5月にかけて出荷のピークを迎える見込みです。部会員の皆様には、事前防除を徹底し、「1ケースでも多く出荷する」よう協力が呼びかけられました。



「JAと販売側が情報連携を密にし、3月までに良い価格を獲得していくことを目標に、今シーズンの連携強化が確認されました。」



生産と市場の状況を冷静に分析する東京青果(株)佐々木副部長



芋ほり企画 みんなで楽しく秋の味覚を収穫

10月11日、JAごとう直売部主催による芋ほりイベントを開催しました。今回はフレミズ部会の皆さんにもご参加いただき、約40名の大所帯となりました。

「五島がうまい」に集合した子どもたちは、帽子や長靴など全身装備でやる気満々！現地に到着すると目を輝かせながら元気よく畑へ向かいました。

農産園芸部の協力のもと用意された畑では、大きな芋やたくさん連なった芋が次々と見つかるなど、掘り甲斐のある畑にみんな大興奮。子どもから大人まで夢中になって芋ほりを楽しみ、その様子に職員たちも思わず笑顔になりました。

掘った芋はお土産として持ち帰られ、「家で天ぷらやふかし芋にして美味しくいただきました」との声も。土にふれ、収穫を体験し、実際に食べることで、子どもたちにとっても食や農業の大切さを学ぶ良い機会となりました。会話と笑顔があふれる、終始にぎやかなひとときとなりました。



ライスセンター

岐宿ライスセンター 小学生工場見学

ライスセンターで学ぶ お米のしくみ

●三井楽・福江の小学生がライスセンターを見学し、お米の収穫から販売までの工程を学びました。

JAごとう管内の小学校である三井楽小学校と福江小学校の5年生が地域の農業について学ぶため、三井楽小学校は10月16日に、福江小学校は22日に岐宿ライスセンターを訪れました。

それぞれの学校でお米の収穫から出荷・販売までの流れを、実際の機械や設備を見ながら学ぶ機会となりました。

児童らは大きな機械に興味津々で、工程が変わるごとに質問が次々と飛び交い、見学後の質問コーナーでも、児童からの質問が止まらず職員もその熱心に驚かされました。

続いて、精米の工程では玄米から白米になるまでの過程をわかりやすく伝えるため、各工程のお米が小皿に取り分けられており、目の前で少しずつ白くなっていくお米を見比べながら、実際に手に取って観察する様子も見られました。



説明を聞きながら設備を眺める福江小児童ら

見学では、農家さんがどれだけ手間をかけてお米を育てているのか、そしてその努力を支える農協という仕組みについても伝えました。お米を「食べる」だけでなく、「作る・支える」視点から学ぶ貴重な体験となりました。



優勝した野々切Aチーム



準優勝した籠淵チーム



第3位の下大津チーム

JAごとう
年金友の会

第22回 ゲートボール大会

元気と笑顔が弾ける熱戦 ゲートボール大会開催



金融

●秋の青空の下、親睦、融和、健康増進を目的とした
熱い戦いが繰り広げられました。



新米を贈呈される85歳以上の参加者



JAごとう年金友の会は10月8日、五島市大津みなと公園にて第22回ゲートボール大会を開催しました。当日は、14チーム76名の会員が集結。白い雲と青空が広がる絶好のコンディションのもと、グラウンドは熱気に包まれました。

開会式では、年金友の会川村久治会長、ごとう農協家永嘉弘組合長の挨拶で幕を開け、85歳以上の参加者18名に記念品として新米が贈呈されました。

試合では、参加者が年齢を感じさせないはつらつとしたプレーを展開。一打ごとに声を掛け合い、日頃の練習の成果とチームの絆が垣間見える好ゲームの連続。真剣な表情の裏には仲間とプレーを楽しむ笑顔があふれていました。

熱戦の結果、野々切Aチームが栄えある優勝を飾り、準優勝は籠淵チーム、第3位は下大津チームとなり、敢闘賞は年輪会チームという結果で盛況のうち閉会となりました。



JAごとう 年金友の会

第22回 グラウンド・ゴルフ大会

200名が集った秋のグラウンド・ゴルフ大会

●集中する眼差しと、成功のたびに湧く歓声。緊張と楽しさが入り混じる賑やかなひとときでした。

金融

JAごとう年金友の会グラウンド・ゴルフ大会が、10月29日、五島市中央公園の多目的広場で開催されました。秋晴れの下、200名の年金友の会メンバーが一堂に会し、会場は終始、活気と笑顔に包まれました。

参加者の皆様は、日頃の練習の成果を発揮しようと真剣な表情でボールを打ち出し、ナイスショットが出るたびに「おおっ！」と歓声が上がり拍手が沸き起こるなど、プレーを心から楽しんでいる様子でした。特に、見事ホールインワンを達成された方には、大きな歓声と羨望の眼差しが送られました。

競技後の表彰式では、熱戦を讃え合う温かい拍手が送られました。勝敗を超え、この大会を通して会員相互の親睦がさらに深まったことと思います。参加者からは「久しぶりに皆さんと顔を合わせられて良かった」「適度な運動ができて気持ちよかった」といった声が寄せられました。



3位 川原 裕子さん
(福江ナイスイン)

1位 松野 悟さん
(野々切GG同好会)

2位 田橋 利昭さん
(富江GGC)



上地区・下地区のあわせて200名が参加した開会式

LA下期目標に向け活動方針を共有

●上期の活動経過を確認し、下期に向けた活動方針を共有。
目標達成に向けての意志と団結を強固なものとししました。



職員に労いと激励の言葉を贈る家永組合長

10月7日、本店ではLA下期対策会議を開き、JA共済の普及活動を担うLA（ライフアドバイザー）職員の上期の活動経過と下期に向けた活動方針を協議しました。

家永組合長からは「共済事業を取り巻く厳しい環境の中、日々真摯に取り組んでいただき、心より感謝いたします。残り半年も皆さんのさらなる活躍を期待しています」と、労いと激励の言葉が贈られました。

全共連長崎県本部の内山本部長からは、令和6年度の県基準およびJA自主計画のW達成という大きな成果に対し、「この結果は、日々の積み重ねと計画的な取り組みの賜物であり、その中心にはLAの皆さまのご尽力があります」と、職員の功績



下期スタートに向け、会場に響き渡った力強い『ガンパロー三唱』

を高く称え、「下期もその勢いを維持し、地域の皆さまに『共済に入っておけばよかった』と後悔させることのないよう、日々活動いただきたい」と激励。ひと・いえ・くるまの各共済の必要性を改めて確認し、地域住民を守る最前線としての役割を果たすよう「目標達成に向けて今後がんばってください」と力強いエールがありました。

その後、LA職員から上期活動の振り返りと、下期に向けた意気込みや活動方針の発表があり、最後には出席者全員での声高らかな『ガンパロー三唱』の唱和とともに、下期のLA活動がスタートしました。



共済事業

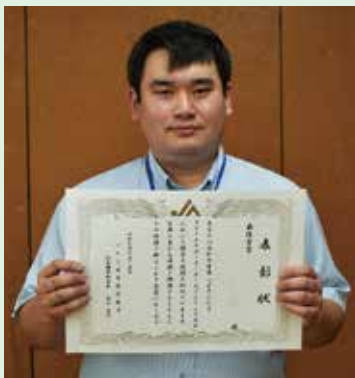
第13回 スマイルサポーターロールプレイング大会



窓口の技を磨く！ ロールプレイング大会開催

JAごとうは、組合員・利用者様のニーズに則した最適な保障提案を実現するため、10月15日に福江支店2階で「JAごとう第13回ロールプレイング大会」を開催しました。この大会には、共済窓口の最前線で活躍するスマイルサポーター（共済窓口担当者）が参加し、業務知識と推進話法の高度化を目指しました。

大会には管内5支店から選抜された5名の代表職員が出場。審査員はJA共済連長崎県本部



栄えある最優秀者に輝いた 村岡陽平 職員

職員1名を含む計5名で、「第一印象・和ませる会話」「提案・本論」「全体」の3項目に加え、傾聴の姿勢や的確な業務知識なども厳正に採点しました。

出場者は、実際の窓口対応を想定した緊張感ある場面設定のなか、日頃培った知識と技術を駆使。お客様役の職員に対し、保障の必要性を丁寧に説明する姿勢や、資料を活用して分かりやすく提案する技術を披露しました。

見事最優秀賞に輝いたのは福江支店の村岡陽平職員でした。村岡職員には家永組合長より記念品と賞状が手渡され、JAごとう代表として11月7日に長崎県JA会館で開催される「第13回JA共済スマイルサポーターロールプレイング大会」に出場します。出場者たちには、今回の経験を糧に、今後も「安心」と「笑顔」を届けるプロとして今後の活躍に期待が高まります。



法律の改正・延長に向け 意思をひとつに

地域密着

○運賃低廉化や輸送コスト支援など組合運営についても欠かせない
「有人国境離島法」の改正・延長を求める総決起大会に参加しました。



10月25日、五島市国境離島振興協議会主催のもと、「有人国境離島法の改正・延長を求める総決起大会」が福江文化会館にて開催されました。

平成29年に施行された有人国境離島法は、運賃低廉化や農水産物の輸送コスト支援など農協の運営にも多大に寄与していますが、10年間を期限とする特別措置法であり令和9年3月末に期限を迎えることとなります。五島市を含む選挙区の衆・参議院議員や県知事・県議、五島市長や市議などが出席し決意表明を行った同会には、当ＪＡからも五島市国境離島振興協議会副会長である家永組合長をはじめ役職員や各部会員が多数参加し、同法案の改正・延長に向け決意を新たにしました。

総決起大会の終了後には改正・延長に係る意見交換会も開かれ、当ＪＡからは家永組合長と安田常務が出席し、大石県知事との意見交換を行いました。家永組合長は「農協として運賃面などで活用させて頂いており、この法案には大変感謝している。しかしながら、どうしても離島であるがゆえに運搬に時間がかかる部分があり、その部分を支援できるような措置が必要」と述べ、同法案の貢献度がいかに高いかを伝えるとともに、現状のままの延長ではなく、より良くするための改正を踏まえた提言を行いました。

会の最後に大石県知事は、「今回頂いた意見の中には、有人国境離島法の改正で対処すべき意見はもちろん、行政として対策すべきであろうという意見もあった。今後十分に検討し、対応をしていきたい」としています。



意見を述べる家永組合長



意見を求める大石県知事



Aコープ浦桑店 29周年大誕生祭

Aコープ浦桑店はおかげさまで29周年を迎えました。ご愛顧の感謝の気持ちを込めて、10月24日～26日の3日間「大誕生祭」を開催しました。期間中は五島牛や五島美豚を含むお肉類が日替わりで半額！そのほか店内商品を特別価格でご提供。

おかげさまで予想を上回る多くのお客様にご来店いただき、店内は終日大にぎわいとなりました。お肉コーナーには長い列ができ、職員が次々と商品を補充するほどの盛況ぶり。お米やお菓子コーナーも人気を集め、買い物かごいっぱい商品に詰めるお客様の姿があちこちで見られました。

さらに、会員様限定のガラポン抽選会も実施。1等は商品券1万円分、2等は商品券5千円分と豪華賞品がそろい、笑顔あふれる3日間となりました。

今後も地域に根ざしたお店づくりを目指してまいります。これからもAコープ浦桑店をよろしく願いいたします。



島空マルシェ ハロウィーンイベント開催

秋の気配が感じられる10月11日、『産直市場五島がうまい』前の広場で「島空マルシェ」と「ハロウィーンイベント」が開催されました。マルシェは午前から多くの人でにぎわい、14時からのハロウィーンイベントが始まると約160人の子どもたちが集まりました。

仮装した子どもたちはスタンプラリーの台紙を手に、

キッチンカーやお店を巡りながら「トリック・オア・トリート！」と元気な声を響かせて、スタンプとお菓子を楽しそうに集めていました。会場には撮影ブースも設けられ、家族や友だちと写真撮影を楽しむ姿も多く見られました。

お菓子でいっぱいになったバッグを提げた子どもたちの笑顔が、秋の午後をより一層にぎやかに彩っていました。



麗宝展 たくさんのご来場ありがとうございました！

10月18日・19日の2日間、JAごとう本店特設会場にて「下地区麗宝展」を開催し、500名を超えるたくさんのお客様にご来場いただきました。

会場には煌びやかなアクセサリーをはじめ、靴やバッグ、布団など高級感あふれる品々がずらりと並び、上質な雰囲気広がる中で皆さんは目を輝かせてながら、お気に入りの一品を探している様子でした。また、アクセサリーの修理受付も行われ、依頼されたお客様からは「仕上がりに満足している」とのお声も寄せられました。



ネックレスの修理風景



ＪＡバンク・ＪＡネットバンクを装った フィッシングメール・サイトにご注意ください

ＪＡバンクおよびＪＡネットバンクを装ったフィッシングメールが利用者あてに送付され、ＪＡネットバンクを装ったサイトが開設されている事例が確認されております。

<フィッシングメールによる被害に遭わないために>

- ・不安を煽る、儲け話を持ち掛けるといった不審なメールは絶対に開封せず削除する
- ・ＪＡネットバンクの取引が不安な場合、公式サイトからログインし、身に覚えのない取引がないか確認する
- ・１日あたり振込限度額について、初期設定の20万円から引き上げている場合、適切な金額となっているか確認し、必要のない場合は限度額を引き下げる

万が一不正サイトに情報を入力してしまった場合は、ＪＡネットバンクを利用停止するよう、お取引のＪＡまたは後述するＪＡネットバンクヘルプデスクあてにご連絡ください。

ＪＡネットバンクに関するお問合せ【ＪＡネットバンクヘルプデスク】

フリーダイヤル：0120-058-098 / お問合せ時間：平日 9:00～21:00

土日祝日 9:00～17:00

第25回 JA ごとう

農業まつり

2025 年
11 月 29 日(土) 30 日(日)
10:00 ~ 16:00 9:00 ~ 15:00

JA ごとう本店特設会場



食と農でつながる笑顔の輪



変面ショーと五島椿さんもやってくる！



- 農産物コンクール
- 畜産物即売
- 米即売
- 農機 / 自動車展示会
- 大型トラクター試乗 (記念写真プレゼント)
- ポイントラリー
- JA共済ブース
- ステージイベント各種 (変面ショー・五島椿など)
- 農産物即売
- 産直果物即売
- 露店販売
- 組合員加入促進ブース
- ポップコーンプレゼント
- JAバンクブース

楽しいイベント盛りだくさん！
みなさまのご来場お待ちしております！



会場のご案内



当日は係員が駐車場への誘導を行います。
近隣施設への駐車はご遠慮願います。

2025 年
12 月 7 日

上五島

農業まつり

石油備蓄記念会館
9:00 ~ 15:00

食と農でつながる笑顔の輪



- 冬季電化ショー等合同展示会
- ガス器具・農業機械展示即売会
- 農産物加工品評会
- 「五島牛」「五島美豚」即売会
- 地元業者特産品即売会
- 地元野菜即売会
- 子どもお祭り広場（ちびっこエアロビクス／ゴーライザーショー-他）
- 龍踊り
- バルーンアート
- 餅まき

合同展示会は農業まつり当日の 9 時～ 16 時、
前日の 12 月 6 日（9 時～ 17 時）も開催いたします。

狩猟免許試験(冬期)のお知らせ

有害鳥獣の捕獲を行うためには、狩猟免許及び市の有害鳥獣捕獲許可(免許取得後に申請)が必要です。この度、狩猟免許試験が実施されますので、受験をご検討ください。

狩猟免許試験について

試験日程…令和 8 年 1 月 25 日(日)【一次試験、わな猟二次試験】

令和 8 年 2 月 12 日(木)【第一種銃猟二次試験】

試験会場…五島振興局

受付期間…令和 7 年 11 月 4 日(火)～11 月 28 日(金)

※試験の詳細については、五島振興局農業振興普及課(電話:72-5115)へお問合せください。

狩猟免許取得等に係る費用への補助等について

狩猟免許の取得には市の補助金があります(申請は令和 8 年秋～冬頃となります)。補助金を受ける際は領収書等が必要ですので、必ず保管してください。

補助金並びに有害鳥獣捕獲許可の詳細については、

五島市役所農林課 畜産・鳥獣対策班(電話:72-6441)へお問合せください。



JAの住宅ローン

最新金利情報
2025年
11/1～11/30

変動金利

年 **1.025%**

店頭金利

年 3.125% から 年 2.10% **引下げ**

当初からずっと
変動金利を選択
している間は

途中から固定金利を
選択した場合

金利見直し時の店頭金利から

年 **2.10%** **引下げ**

固定金利 10年

年 **2.20%**

店頭金利 年 3.90% から 年 1.70% **引下げ**

固定金利 3年

年 **1.80%**

店頭金利
年 3.50% から 年 1.70% **引下げ**

固定金利 5年

年 **1.90%**

店頭金利
年 3.60% から 年 1.70% **引下げ**

当初固定金利適用期間終了後、
変動金利・固定金利いずれを選択しても

その時の店頭金利から

年 **1.00%** **引下げ**

JAバンクでは **お申込時、お借入時いずれか低い方の金利を適用します。** 団体信用生命共済掛金はJAで負担します

ただし、当初から変動金利をご選択された場合には、お借入時の金利が適用されます。新築・リフォームをはじめ、現在他の金融機関でご利用中の住宅ローンのお借換えまで住宅に関するさまざまな用途にご利用いただけます。

詳しくはお近くの支店窓口までお気軽にお問い合わせください。

施設作業員募集

作業場所

作業期間

育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。

☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを

社会保険労務士へ相談してみませんか？

開催日 毎月第2水曜日（祝日の際は翌営業日）

開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

※相談にあたっては事前のお申込みが必要です。

詳細は本店金融部までお問合せ下さい

☎0959-72-6212



株式会社 JAごとう葬祭

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場

五島がうまい。

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1

電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～18時30分

9時～19時（7・8月）

※農家レストランは10時30分～14時（予約については別途）

休業日：棚卸日（9/末、3/末） 年始（1/1・2・3）

編集 後記

季節がガラッと変わり急に寒くなりましたね。我が家では娘がそらまめを育てると張り切り、農産園芸部と同じタイミングで種をまきましたが、最近では「水あげといてね！」と頼もしい指示をいただいております。笑 11月は家庭内人材育成を頑張ろうと思います。（神藤 夢香）

議案事項

その他

議案No.2

固定資産の処分について

※可決・承認された

議案No.1

借入金及び貸付金の審査について

※可決・承認された

1 議案事項

次第

令和七年十月二十四日開催

令和七年度 第七回理事会



●JAごとうNo.237 ●発行／ごとう農業協同組合 編集／総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211

●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷／(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。